

# 雪嶺集

〈宮坂靜生鑑〉

愛しき日

小林貴子



糸魚川 冬波かくも 愛しき日  
糸魚川 枯れゆくものに 捨舟も  
能登も 浮き軍艦も 浮き冬夕焼  
冬草や 波が 簡なす時が好き  
鮫鯨のまだ来ぬ海や 翡翠色  
翡翠海岸 冬の日熟るる暇もなし  
冬麗や 翡翠いちいち透かし見る  
穂俵の岸に寄り来ず 年惜しむ  
鰐寿司や その夜を語り尽したる  
寒の夜の怒濤は腰に響くとよ

黒坂愛子さん曰く